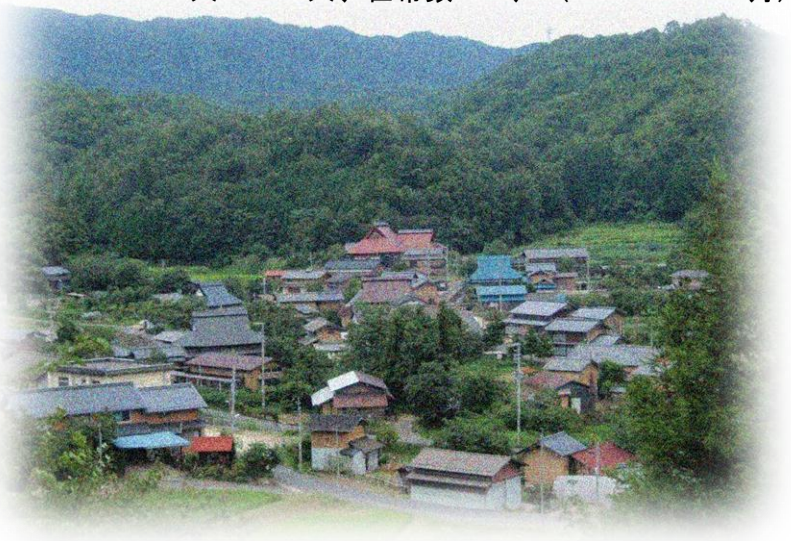


ようこそ 小野小町ゆかりの里へ

～～大宮町五十河（いかが）区～～

人口87人、世帯数39戸（H27. 11月）



▲府内最大級のブナ林がある内山山系の麓にある五十河集落

五十河（いかが）の地名

「五十河」という地名は、江戸時代にはじめてみられるものです。『妙性寺縁起（みょうしょうじえんぎ）』によれば、この地に来た小野小町が火事に困っていた村人たちの相談を受けて、「五十日」という地名を「五十河」に変えれば火事が治まると教えたのが由来とされています。

竹野川の源流は五十河

丹後半島のほぼ中央部分を丹後町海岸へと流れる竹野川（延長27,594m）の源流は五十河の内山山系になります。内山ブナ林から流れ出る水が小河川と合流しながら、峰山町、弥栄町そして丹後町へと流れ、豊かな自然と農地を育てています。

私たちの集落は、静かで風光明媚な山あいにあります。絶世の美女小野小町や自然がどれだけ残っているかのバロメーターとされるブナ林など、地域の中には見どころがいっぱい。ゆったりと散策をお楽しみください



▲小町が開山したと伝わる妙性寺



▲小野小町が眠るお墓

小野小町の終えんの地

当区には、絶世の美女で平安時代の歌人小野小町がこの地で亡くなったという伝承が残っています。小町を開基と伝える妙性寺をはじめ、小町の守護仏を祀る薬師

堂、小町のお墓、小町をした

ってこの地に来た深草少将の墓と伝える岡の宮などが残っています。小町が腹痛を起こしたという

「小野坂」は、現在も小字名として隣の新宮区にあります。平成7年に建設された小町の舎（やかた）には、小町のブロンズ像のほか全国の小町伝承に関する資料を展示しています。



◆小町の舎にあるブロンズ像



◆寝殿造りをイメージした小町の舎

小町公園（☎64-5533）は水曜日が休館日。入館料は高校生以上が200円、小中学生100円

府内最大級のブナ林

内山ブナ林地帯へは、小町公園から車で山の中腹にある自然観察施設「ブナハウス内山」へ行き、そこから少し急な斜面を徒歩で登っていくことになります。ブナは通常標高600m以上で育つと言われていますが、内山山系のブナは標高450m前後から始まっているのが特徴。幹の周囲が3.65mもある府内で最大のブナをはじめ、珍しい生き物が生息していることなど、学術的にも貴重な地域であると注目されています。この地域115.2haは「京都府自然環境保全地域」に指定されています。

五十河を
ひと廻り



▲笹葺き古民家「田上邸」築200年以上経つ
2010年秋 保存会が修復 賛同者募集中



▲そば処「歌仙」 お屋にはおいしいそばを食べることができる



▲丹後内山天象観測台「開星館」 天体望遠鏡
で星の観察などを行う 普段は入館不可



▲中原神社(写真) 当区には霧宮神社ととも
に2つの神社がある

300年以上前の民家を復元(民家苑)

当区集落に入る手前、左手の丘の上に数頭の牛、ヤギの放牧とともに古民家3棟が建っています。(写真下) これは府内の南丹市や向日市などにあつた貴重な古民家を当地域で復原させた



ものです。いずれも江戸初期から中期に建てられたもので、可能な限り建立当初の姿に復原して再建されており、学術的・教育的・文化的価値をもっています。なかでも日吉ダム建設に伴い昭和62年に解体され、12年前にこの地に復原された「旧湯浅家」は、棟札(むなふだ)現存の民家では日本最古とされています。

棟札には「宝永元年(1704年)」と墨書き。

この地を通称「民家苑」と言いますが、一般入場はもう少し先(平成24年2月末現在)、今しばらくお待ちください。(NPO法人)



悠久の時を超えて小町の地で
ブルーグラス&フォークフェスティバル



小町公園野外ステージでブルーグラス&フォークを熱唱、熱演
夜も幻想の中で演奏。小町もどこかで聞き入っているのかな？



第20回丹後ブルーグラス&フォークフェスティバル
京丹後市、与謝野町他京都府下から20数組出演

4 3
日 日
8 15
.. ..
00 00
5 5
12 22
.. ..
00 00





地元五十河会も協賛、テント張り、机、いすの準備をし、
本番では、出店でうどん、フランクフルトを販売しました。



参加者（演奏者、観客）は、家族等でテント持ち込み
2日間を過ごしました。各々の家族でバーベキュー等
をしてフェスティバルを楽しんでいました。夜は、薪を焚
いて暖を取り、幻想的な夜を過ごしました。

